

# 安全人報誌

安衛委 No142  
平成26年9月10日  
安全衛生推進委員会

## 全国労働衛生週間

全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保等を目的に実施されてきました。建設業における業務上疾病による被災者数は、平成二十二年においては、記録的な猛暑による熱中症の多発により増加しましたが、熱中症などの労働衛生対策への取り組みにより減少し、平成二十五年は七百三十三人となりました。

建設業においては、建設投資の急拡大と労働力不足などから、長時間にわたる過重労働等による脳心臓疾患や仕事のストレス等による精神障害等の発生リスクが高まることが懸念される状況にあります。

船引町清水

## 健康管理教室

平成二十六年六月、労働安全衛生法の一部が改正され、労働者の心理的な負担の程度を把握するため、ストレスチェックの実施が従業員五十人以上の事業所について義務づけられ、五十人未満の事業所については努力義務となりました。また、受動喫煙を防止するための適切な措置を講ずることが努力義務とされました。

準備期間九月一日～九月三十日  
本週間十月一日～七日まで



急拡大と労働力不足などから、長時間にわたる過重労働等による脳心臓疾患や仕事のストレス等による精神障害等の発生リスクが高まることが懸念される状況にあります。

が懸念される状況にあります。平成二十六年六月、労働安全衛生法の一部が改正され、労働者の心理的な負担の程度を把握するため、ストレスチェックの実施が従業員五十人以上の事業所について義務づけられ、五十人未満の事業所については努力義務となりました。また、受動喫煙を防止するための適切な措置を講ずることが努力義務とされました。

## 秋の全国交通安全運動

は、早めの治療を行い悪化させないようしてください。定期的にかかりつけの医者に通っている方も、定期健康診断の結果を先生に見て頂き、先生の指導のもと健康管理に努めて下さい。

この運動は、広く県民に交通安全思想の復旧・浸透を図り、交通安全の遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、交通事故防止の徹底を図るものです。運動期間  
九月二十一日（日）から  
九月三十日（火）までの十日間



運動の重点  
・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
・飲酒運転の根絶

## 安全第一

「安全第一」とは、仕事をする場合に、先ず安全を一番目に考えるという事です。

米国のUSスチールの社長が経営方針である「生産第一、品質第二、安全第三」の方針を「安全第一、品質第二、生産第三」に改めたことよって、災害が減少したことはもちろんであるが、製品品質も大幅に改善され生産高も向上し、この「安全第一」という標語は、米国全土に、やがて世界中に広まったといえます。

事故は、安全な施設で安全な行動をすれば事故は起こりません。不安な状態の物と不安な行動をする人が出会うことによつて災害が発生します。施設から不安な部分を取り除けば、災害の82%がなくなり、作業員が不安な行動を止めれば、災害の94%がなくなり、施設の不安な部分を取り除き、作業員の不安な行動を止めれば災害の99%は無くなるといわれています。不安な行動とは、安全帯を装着しているにもかかわらず使用しないこと。不安であることを知りながら行うこと等です。